

第11回 全国被災地 語り部シンポジウム in 東北

～ 15年の歳月は私たちに何を教えてくれたのか～

定員
300名

参加
無料

令和8年 3月1日(日)

・3月2日(月)



会場／南三陸ホテル観洋 (宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17)

TEL.0226-46-2442

および南三陸町内・気仙沼市内・石巻市内

今年、東日本大震災から15年目を迎えます。変化の激しい時代の中、年を追うごとに震災の風化は進んでいます。

それでも語り続ける人がいます。語り始めた人がいます。

語り続けることで、私たちは人に何かを伝えることの重要性を知りました。語り始めたことで、新しい繋がりができ、人の温かさを知りました。

ひとりでも多くの方に知っていただき、生きて欲しい。その願いは時間が経ち、世代が移り行く中でも変わる事はありません。

どうすれば未来の大切な命が守られるのでしょうか？

「命を守るための語り部」として語り続けるために、そして次世代へ語り継いでいくために必要なものは何でしょうか？

15年という節目、東北のこの地で、私たちのこれまでの歩みと、皆様のこれからの未来について共有します。

多様な価値観が集う場に、地域と世代を超えた多くの方が集う事を願います。

第3回ジャパン・ツーリズム
アワード大賞受賞

「震災を風化させないための
語り部バス」による
地域活性化への取り組み



【プログラム】

■2月28日(土) 特別イベント／「シルクロード～人と文化を結ぶ道～」水墨画ライブペインティング&モンゴル四弦琴の演奏

■3月1日(日)

【エクスカーションプログラム】

▶震災を風化させないための語り部バス 10:30～12:00

【第1部】▶開場

12:50～

▶オープニング「相撲甚句」

13:00～13:15

▶開会式

13:15～13:30

▶導入ムービー

13:30～13:45

【第2部】▶パネルディスカッション

13:50～15:00

【第3部】▶分科会 15:10～16:30

- ①「過去の災害を知り、命を守る」～体験と歴史から、学び伝えるべきものとは～
- ②「語り部からKATARIBEへ」～災害時に問われる多様性の理解～
- ③「あの時、私は」～三陸で語り始めた人たち～

【第4部】▶若者語り継ぎセッション 16:40～17:40

【第5部】▶語り部宣言 17:45～18:00

【懇親会】18:30～20:00 【国際セッション】20:15～21:30

3/1(日) 無料シャトルバス【特別便】運行 予約制

往【仙台駅】10:30発⇒【南三陸ホテル観洋】12:00着

復【南三陸ホテル観洋】18:15発⇒【仙台駅】19:45着

※プログラムの詳細・参加お申込み方法は裏面をご覧ください

南三陸ホテル観洋ホームページ URL▶<https://www.mkanyo.jp>
シンポジウムの詳細を随時UPいたしますのでご覧ください。

■主催:全国被災地語り部シンポジウムin東北実行委員会

(南三陸町地域観光復興協議会・北淡震災記念公園・北淡震災記念公園震災の語り部ボランティア
・Kataribe World Network・多文化と共生社会を育むワークショップ・エフエムわいわい)

■共催:(株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋

■特別協力:(株)ほくだん 南三陸ホテル観洋協力会 (一社)東北みらい推進機構

■協力:(有)スガワラ電化

■後援:宮城県 南三陸町 南三陸町教育委員会 気仙沼市 気仙沼市教育委員会 三陸新報社 河北新報社 日本経済新聞社仙台支局 朝日新聞仙台総局
毎日新聞仙台支局 NHK仙台放送局 tbc東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ khb東日本放送 ラジオ気仙沼 H@FM (一財)3.11伝承ロード推進機構
大川伝承の会 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 リアス・アーク美術館 石巻市震災遺構門脇小学校 海の見える命の森実行委員会

WEBからも簡単にお申込みいただけます。

■お問合せ・お申し込みは…

実行委員会事務局(南三陸ホテル観洋内)

TEL:0226-46-2442 FAX:0226-46-6200
minamisanriku_somu@kanyo.co.jp



3月1日(日)

エクスカーションプログラム

震災を風化させないための語り部バス

10:30
↓
12:00

【高野会館特別コース】
【南三陸ホテル観洋⇒戸倉小学校⇒戸倉公民館⇒高野会館⇒
⇒防災対策庁舎周辺⇒南三陸ホテル観洋】

第1部

13:00
↓
13:15

▶オープニング 相撲甚句「兄よ」
・釜石あの日あの時甚句つたえ隊／藤原 マチ子 氏 北村 弘子 氏

13:15
↓
13:30

▶開会式
・実行委員長挨拶／阿部 隆二郎
((株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋 代表取締役副社長)
・来賓挨拶／吉田 昭二 氏(東北運輸局長)

13:30
↓
13:45

▶導入ムービー
「語り部の始まり」～それぞれの15年～

第2部

13:50
↓
15:00

▶メインディスカッション
テーマ「これまでの15年、これからの15年」
コーディネーター
山内 宏泰 氏(リアス・アーク美術館館長・学芸員) 宮城県
パネリスト
釘子 明 氏(陸前高田語り部くぎこ屋代表) 岩手県
佐藤 敏郎 氏((一社)スマートサプライビジョン理事) 宮城県
青木 淑子 氏(富岡町3.11を語る会代表) 福島県
コメンテーター
宮本 肇 氏(元淡路市総務部長) 兵庫県

第3部

▶分科会

- ①「過去の災害を知り、命を守る」～体験と歴史から学び、伝えるべきものとは～
コーディネーター／後藤 一磨 氏(南三陸町文化財保護委員) 宮城県
パネリスト／野村 勝 氏(人と防災未来センター語り部) 兵庫県
崎山 光一 氏(前稲むらの火の館館長) 和歌山県
三輪 一雄 氏(歌手) 石川県
宮川 ルミ 氏(福祉会代表) 宮城県
- ②「語り部からKATARIBEへ」～災害時に問われる多様性の理解～
コーディネーター／北村 美和子 氏(東北大学スタートアップ事業化センター特任准教授)
パネリスト／リチャード・ハルバーシュタット 氏(石巻市震災遺構門脇小学校館長)
大城 ロクサナ 氏(ひょうごラテンコミュニティ代表)
周 智晃 氏(台湾静宜大学学生)
コメンテーター／金 千秋 氏(FMわいわい代表理事)
- ③「あの時、私は」～三陸で語り始めた人たち～
インタビュアー／小林 裕 氏((一社)東北みらい推進機構副理事長) 宮城県
トーク／「屋上か、五十鈴神社か～親の教え～」齊藤 早苗 氏(戸倉小学校 元教諭)
「使命～消防士として、父親として～」及川 淳之助 氏(気仙沼東日本大震災遺構・伝承館館長)
「残し続ける意味～受け継がれる思い～」米沢 祐一 氏(米沢商会代表取締役) 岩手県

第4部

▶若者語り継ぎセッション

- 16:40
↓
17:40
- コーディネーター／ユリア・ゲルスタ 氏(東北大学災害科学国際研究所 准教授)
山地 久美子 氏(神戸大学地域連携推進本部 特命准教授)
パネリスト／後藤 優太 氏(東北大学SCRUM)
中村 海翔 氏(東北学院大学生)
野々内 日向 氏(神戸大学ボランティアバスプロジェクト)
范 克禎 氏(台湾静宜大学学生)
辻元 惇 氏(南三陸ホテル観洋営業次長)

第5部

▶語り部宣言

- 17:45
↓
18:00
- 米山 正幸 氏(北淡震災記念公園総支配人)

懇親会	18:30～20:00 ※会費4000円(当日精算)	国際セッション	20:15～21:30	Japan's memory of difficult pasts in international perspective 「日本の困難な記憶と記録を国際的な視点から考える」
-----	-------------------------------	---------	-------------	---

3月2日(月)

サテライトセッション	「“避難所運営の記憶”と“被災地における教育の記録”」～語り継がれるべきこと～ 8:30～9:20 スピーカー／河原 正樹 氏(南三陸町立志津川小学校校長)、山内 松吾 氏(KATARIBE World Network事務局長)
------------	--

エクスカーションプログラム	語り部バス オプションツアー(無料)	[B.石巻を感じ、学ぶコース]	※昼食代・入館料は自己負担
---------------	--------------------	-----------------	---------------

[A.気仙沼であの日を追体験するコース]	[9:30]南三陸ホテル観洋⇒[10:10]海の市「佐藤誠悦氏による語り部」⇒ [12:00]小泉海岸⇒[12:30]南三陸ホテル観洋帰着	[9:30]南三陸ホテル観洋⇒[10:10～11:40]震災遺構・大川小学校「大川伝承の会 鈴木典 行氏による語り部」⇒[12:20～13:10]昼食(いしのまき元気いちば)⇒[13:20～14:50] 「佐藤美香氏による語り部」⇒出発(希望者は石巻駅送迎)⇒[15:40]南三陸ホテル観洋帰着
----------------------	--	---

参加申込書

FAX:0226-46-6200 ※WEBからも簡単にお申込みいただけます。

申込期限／2月23日まで

※会場準備の都合により、事前の参加お申込みにご協力ください。
(会場が定員になり次第締め切りとなります)



参加希望	参加される□内に ✓を入れてください	3月1日(日)	エクスカーション プログラム	<input type="checkbox"/> 震災を風化させないための語り部バス
		第1部	<input type="checkbox"/> 参加する	
3月1日(日)		第2部	<input type="checkbox"/> 参加する	
		第3部 (1つ選択)	<input type="checkbox"/> ①「過去の災害を知り、命を守る」 <input type="checkbox"/> ②「語り部からKATARIBEへ」 <input type="checkbox"/> ③「あの時、私は」	
3月2日(月)		第4部	<input type="checkbox"/> 参加する	
		懇親会	<input type="checkbox"/> 参加する ※会費4,000円(当日精算)	
2日(月)		サテライトセッション	<input type="checkbox"/> 参加する	
		エクスカーション プログラム (1つ選択)	<input type="checkbox"/> A.気仙沼であの日を追体験するコース <input type="checkbox"/> B.石巻を感じ、学ぶコース	
シャトルバス 特別便 (1日(日)のみ)		【往路】仙台駅(10:30出発)⇒南三陸	<input type="checkbox"/> 利用する	
		【復路】南三陸(18:15出発)⇒仙台駅	<input type="checkbox"/> 利用する	

※必要事項は全てご記入ください。※グループ・団体でご参加の皆さまも一人ずつお申し込みください。※プログラムは変更になる場合がございます。